

女性プラザ 男女共同参画支援室だより

Vol. 7

2010.3.1発行

今年度、開催したセミナーについてご紹介します。

●男女共同参画チャレンジ支援セミナー(第3回) 平成21年11月4日(水)

「わたし流ワークスタイル」～子連れで出勤～

「子連れでOK、子どもと一緒に働く」という独自のスタイルで会社を経営し、今や全国から熱い視線を集めている女性起業家であるモーハウス代表の光畑由佳さんと、そこで働いていらっしゃる筋野真知子さんをお迎えしてお話を伺いました。

光畑さんは起業のきっかけやライフステージに合わせた仕事をするためのポイントなど、子育てしながら楽しく生活していくヒントをたくさんお話しされました。「自分が楽(らく)して楽しいことをしている。女性が自分らしいライフデザインをするという情報を発信していきたい。そのための授乳服製造でもある。」という目的をしっかりと持ちになって、行動を起こすことで多くの人にパワーを与えていることが印象的でした。また、子連れ出勤を経験している筋野さんの失敗談を交えながらのオープンな話の内容に、参加者は興味しんしんな様子でした。



参加者からの感想

☆授乳服で子連れ出勤ができる職場があることを初めて知った。ライフステージに合わせた楽な働き方もできるのだと感じた。いろいろ諦めたことを子どものせいにしてきたこともあった。

★育児がハンディになるのではなく、チャンスとして活かすということが印象に残った。

☆子連れ出勤がもっと広まればいいなと思った。

●男女共同参画チャレンジ支援セミナー(第4回) 平成21年11月14日(土)、21日(土) 「女性のための創業支援セミナー」 平成22年1月30日(土)、2月6日(土)

水戸会場と常総会場の2地区において、それぞれ2日間のプログラムで実施しました。会社設立などの手続きから計画の重要性、会計知識など創業に必要な内容でした。創業チャレンジ相談会や創業体験談などを通して、創業に対する具体的なイメージが抱けたことと思います。講師の方々のお話に、創業に対する意欲も高まったのではないのでしょうか。このセミナーをきっかけとして、いろいろな可能性が開けていくことを期待しています。女性プラザ男女共同参画支援室では、チャレンジ相談を実施しておりますので、どなたでもお気軽にご相談下さい。



参加者からの感想

★自分の目指すことについて方向性が見えてきた。不安が少しずつ解消した。不安が吹き飛んだ。

☆マーケティングの重要さが理解できた。創業に関しての手續、届出、税金のことが勉強になった。会計の実践的内容が理解できた。

●男女共同参画チャレンジ支援セミナー(第5回) 平成22年2月17日(水)

「身近な課題で自分活かし！」

～コミュニティ・ビジネスという
新しい働き方～

ビジネスの手法を使って収益を上げ、地域で困っている課題解決に継続的に取り組んでいくためにコミュニティ・ビジネスについて学びました。



コミュニティ・ビジネスのポイントは、発想を覆すこと。地域の資源を生かして、住民主体で、ビジネスの手法を用い、地域問題を解決するという取り組みがコミュニティ・ビジネスです。活動することで得られる生き甲斐。活動を続けるうえで必要な楽しみの場の設定。楽しみの場とは「学び、仲間、生き甲斐」が得られること。今回、コミュニティ・ジョブセンター茨城代表の横田能洋さん、NPO法人ユアンドアイ代表佐藤真智子さん、ふれあい貸し農園とまと倶楽部代表田尻英美子さんから、生き生きと活動しているお話を伺いました。

参加者からの感想

- ☆ボランティアだけでは継続できない。多少の利益はお互いのために必要という話に共感。
- ★初めからできないと思わずに、何かあればやってみようと思いました。
- ☆NPOを働く場として考え、就職活動の範囲を広げていきたい。

事例発表団体のプロフィール

コミュニティ・ジョブセンター茨城

コミュニティ・ビジネスを立ち上げるまでの相談、支援、情報提供と、団体等をデータベース化して、活動したい人と求人側の仲介役として就職につながるコーディネートを行っている。

所在地 水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階

TEL 029-300-4321 <http://www.npocommons.org>

特定非営利活動法人 ユアンドアイ

「であい、ふれあい、ささえあい」をスローガンに、龍ヶ崎市及び近隣の高齢者、障害者、その他困難を抱える家庭への福祉サービス活動を通して、健康で安心して暮らしていくことのできる地域づくりを行っている。

所在地 龍ヶ崎市姫宮町104番地

TEL 0297-62-2667 <http://www.npo-ibaraki.or.jp/>

ふれあい貸し農園 とまと倶楽部

グリーンツーリズムの需要増加、農業従事者の高齢化、後継者不足による遊休農地の増加に対応するため、遊休農地活用のニーズと農業体験希望者のニーズをつなぎ、新たな地域づくりを行っている。

所在地 日立市弁天町2丁目12番10号

TEL 0294-22-6292 <http://www12.plala.or.jp/NPOWY/>

チャレンジ インタビュー

支援室では随時、チャレンジ相談を行っています。相談に来られたお二人をご紹介します。

大高久美子さん

iBlueRose (アイブルーローズ)

<http://www.i-bluerose.com> (携帯・PC共通)

県内女性のネットワークづくりを目指し活動されている大高久美子さんを取材しました。

「茨城は食べ物、空気、水がおいしい」「茨城の女性にもっと輝いてほしい」「すばらしい素材を持っている女性はたくさんいるが、それを出せる場がない。チャレンジする女性を応援する場所が必要」という思いから女性限定のコミュニティサイト「iBlueRose」を去年8月に立ち上げました。具体的な活動は、月1回のセミナーやボランティア活動の開催。3月には専門の講師を招きマネーセミナーが開催されます。大高さんのモットーは「日々前進」。ご自身が一度茨城を離れたからこそ見えてきた茨城の良さを多くの人と分かち合い、また茨城の女性がキラキラ活躍できることを願ってコミュニティサイトで、今後いろいろな可能性に向けて発信しチャレンジされていくことでしょう。



iBlueRoseの由来



「i」は茨城、いつまでも、生き生きと、improve (向上)、intelligence (知性) など、7つの意味があるそうです。「Bluerose」は英語では「不可能」を意味し、この世には存在しないバラと考えられていましたが、開発されて今では栽培が可能になりました。「不可能なことはない」という象徴として、青いバラの存在に強く印象を受けられたそうです。

水野明美さん

陶人形 そう

Tel/FAX 0295-53-0395



縁あって支援室に足を運ばれた水野明美さん。もっとお話を伺いたくて里山にあるご自宅を訪問すると、この日はご主人の宗さんも一緒に、楽しいお話をたくさん聞かせて頂きました。

左上 一目見て「かわい〜」と声を出してしまったほどの愛らしい子どもの陶人形。依頼された写真を見て作りました。

左中 送られてきた写真をもとに作られたペットの陶人形。飼い主のお気に入りの表情に出来上がりました。

左下 米沢市から注文された制作中の武者人形。迫力のある表情やしぐさに驚きました。好きな武将の格好で、お子様の写真をもとに作成することもできるそうです。その他、小物類も依頼に応じてデザインして作っていただけると伺いました。

陶人形は、一体1万円から購入することができます。まだまだ修行中の身であるという謙虚なお気持ちから、お値段は相場の半額程度ということですが、どの作品もすばらしい作品でした。

「昔からお人形は、人の厄を移すといわれます。一体一体心を込めて、この子が丈夫でいられますように。人形がもらわれていく家族が幸せでありますようにと願いを込めて作っています。」というお言葉から、作品にかける思いや夢は、素敵で大きくて真っ直ぐで、これからのお二人のご活躍がとても楽しみです。

なお、お二人の作品に関心を抱かれた方に朗報です。来る4月29日から東武百貨店本店で、武者人形の作品展が開催されます。また、定期的に伊勢丹百貨店に作品が展示され、7月には三重県の子どもの人形展にも出展されるそうです。

大高さん、水野さんご夫妻のますますのご活躍をお祈り申し上げます。



支援室の事業

平成21年度は、チャレンジ支援セミナー、おしゃべりサロン、支援室だよりの発行、チャレンジ相談、総合相談、特別相談などの事業を行いました。

《平成21年度実施事業》

- ・チャレンジ支援セミナーの実施(5回開催)
- ・おしゃべりサロンの実施

毎月第1金曜日10:00~12:00開催

- ・支援室だよりの発行(年2回)

10月、3月発行

- ・相談・支援
- ・ホームページでの情報提供

平成22年度におきましても引き続き、男女共同参画社会を実現するための事業を推進してまいります。

平成22年度の事業の詳細につきましては、4月上旬以降、男女共同参画チャレンジサイト(<http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>)でお知らせいたします。



今から上映が楽しみです。セットや映画を観て、この事業の成功をみんなで応援いたしましょう！

県内情報

水戸藩開藩400年を記念して、映画「桜田門外の変」が、今年の秋頃に上映されることになりました。幕末の日本に大きな転機をもたらしたこの歴史的な事件は、水戸藩が最も熱く燃えた日々として私たちの脳裏に焼き付いており、この度の映画化は、茨城県民にとって誇りであり、大変喜ばしいことです。

この映画は、「映画づくりからはじまる地域づくり」というコンセプトに基づいて制作され、地元が一体となって支援し、関わっています。

主役の「桜田門外の変」の現場で指揮をとった関鉄之介役は、テレビの時代劇ドラマなどで活躍している大沢たかおさんです。水戸藩九代目徳川斉昭役には北大路欣也さん、彦根藩藩主大老井伊直弼役には伊武雅刀さんなど豪華なキャストが揃っています。

製作は、1月20日にクランクインしました。水戸市の千波湖畔にはかつてを偲ばせる撮影用セットが設営されました。水戸の観梅が始まる2月20日から一般開放され、内部を見学することができます。

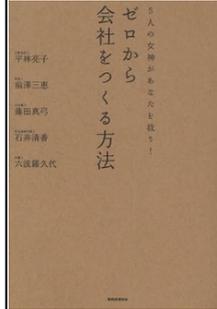
先日のインタビューで、大沢さんは、「今の時代を生きる人に勇気を届けたいという思いで演じています。」と、北大路さんは、「ボランティアの方々の心温まる応援が心に残っている。」と述べられました。

図書・ビデオのご案内

新着図書(51冊)

ビデオ約130本を男女共同参画チャレンジサイト(<http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>)にて、紹介しています。

貸出も行っていますのでご利用下さい。



お金も人脈もない。ゼロから会社をつくらうと目指している方のための指南本。各専門分野で活躍する女性たちからのノウハウをお届けします。

新着図書



キラリと光る女性の生き方や仕事スタイル、起業を支援する機関の案内や女性の起業状況について紹介。女性が輝くためのガイド本。

発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41

電話 029(233)3982

FAX 029(233)1330

URL <http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>



- ・水戸駅から日立方面に向かって徒歩約10分
- ・車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください